

丹後農業実践型学舎研修情報（11月）

- ダイコン、聖護院カブ、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー、ニンジンを収穫・調整し、加工業務用での出荷やイベント販売を実習した。
- 「害虫防除2」「病害防除1」「野菜各論（根菜類）」「野菜各論（葉菜類）」「マーケティング論」「農産物加工開発実践研修」を受講した。
- じねんと市場、高島屋洛西店、キャベツ機械化収穫実演会、アグリドリーム2018（農業機械展示会）を見学した。
- 弥栄・丹後秋の祭典および農林水産フェスティバルに出展し、販売実習を行った。



ダイコン 収穫



ブロッコリー 調整



座学：害虫防除2



キャベツ機械化収穫実演会



アグリドリーム2018（農業機械展示会）



農林水産フェスティバル

研修を通じての学舎生の所感（抜粋）

来週以降は、ハクサイ、ブロッコリー等の収穫できる品種が増えてくると思うので非常に楽しみだが、収穫作業が大変になりそうだった。

今週は講義が多くあり、その中でも病気と害虫の講義では、実際に虫を顕微鏡で観察したり、病気になった野菜の実物を見たりととても有意義な講義だった。

食人材学舎での加工研修は将来の6次産業化を見据えてしっかり身につけていきたい。

農機具展示会では、様々な農機具が展示されていて、特にキャビンタイプのブームスプレーヤーに惹かれた。将来的にそれを使って営農できる農家になりたいと思った。

きちちゃりーな（直売所）へ初めて出荷した。値段の付け方など他の農家の野菜をよく見て出荷しなければ売れないことがよくわかった。

直売所でのダイコンの売れ行きがよく、消費者から高い評価を得ているのだと思った。

イベント販売では、大きいサイズのダイコンがとても人気だった。ニーズに合わせて収穫することが大事だということがよくわかった。

11日のイベント販売では、ハクサイやブロッコリー等が間に合わず、ダイコンとカンショとバターナッツだけの出品となったが、売り上げは前年をわずかに超えることができ達成感を感じた。

農林水産フェスティバルにて販売を行ったが、カンショ以外が完売して、とてもうれしかった。サイズの大きいものがよく売れていた。

農林水産フェスティバルではブロッコリーがよく売れた。京都市内ではブロッコリーが比較的高値で販売されているので、販売地域の売値を確認して、効果的な販売ができれば収益性が上がると思った。

ブロッコリーの収穫調整作業に手間がかかるので、来年以降していくかは、自分の作業速度次第だと思った。